

安田女子大学児童教育学会



第 27 回研究大会 プログラム

日時

平成 29 年 6 月 17 日 (土)
9 時～16 時 30 分

会場

安田女子大学 5 号館

広島市安佐南区安東 6-13-1



日程

9:00	受付 5 号館 2 階フロア	
9:30	小学校授業実践研究	幼児教育ラウンドテーブル
10:30	5201 教室	5202 教室
10:45	研究発表 5201 教室 5206 教室	ポスター発表 5 号館 2 階フロア
12:15	休憩	
13:00	テーマ 子どもたちの 社会的支援を考える	基調講演 中 みちる 先生 NPO 法人 広島クリニカルソーシャルワーク研究所 ripple 代表
14:00		パネルディスカッション 5202 教室
14:10		○司会 山田 修三 (安田女子大学) ○アドバイザー 中みちる先生 ○パネリスト 児童教育学科卒業生 (詳細は後日お知らせします)
16:00	総会	
16:30	終了	

後援 広島市教育委員会
広島県教育委員会

様々な困難を抱えた子どもたちや保護者を支援しておられる経験をふまえ、今どのような社会的支援＝「つながり」をつくりだすことが必要なのかをご講演いただきます。

教育・保育の現場において、いじめ・不登校・発達障害・貧困など様々な困難を抱えた子どもや保護者と関わってきた経験談を語り合います。そうした状況に、どうやって寄り添い、社会的支援＝「つながり」をつくりだしていけたらよいのか、考えます。

プログラム

<9:00 受付> 5号館2階フロア

<9:30~10:30 ラウンドテーブル・実践研究> 5202教室

幼児教育ラウンドテーブル

広島県内の森の幼稚園の取組から学ぶ

ー自然とのふれあいから子どもの発見する喜びを育てるー

パネリスト

吉本 卓生 先生（廿日市市認定保育園にこの森 理事長）

松本 信吾 先生（広島大学附属幼稚園 主幹教諭）

コーディネーター

西川ひろ子（安田女子大学教育学部）

小学校の授業実践研究

5201教室

言葉を交わし合い、考えを深める授業をどう創るか

八木 秀文（安田女子大学実践教育研究所）

溝本 真未（広島市立長束小学校）

<10:45~12:05 研究発表（教育研究部門・実践研究部門）>

研究発表（A会場）

5201教室

10:45 阪本一郎の読書指導論に関する研究 ～読書経験の少ない児童の指導方法～

○三浦 央愛¹，中島 正明²（^{1・2}安田女子大学教育学部）

11:05 滑川道夫の読書指導論に関する研究 ～読書意欲・興味の開発～

○吉川 友菜¹，中島 正明²（^{1・2}安田女子大学教育学部）

11:25 明治初期の私塾における掃除の分析

○岩田 高明（安田女子大学教育学部）

11:45 大学における講義及び演習に反転授業を取り入れた成果と課題

○西川 ひろ子（安田女子大学教育学部）

研究発表（B会場）

5206教室

10:45 「現代大学生の地域認識」—国際的概念とアイデンティティ醸成の視点から

○大庭 由子（安田女子大学現代ビジネス学部）

11:05 教材としての新聞活用に関する考察

○中島 正明（安田女子大学教育学部）

11:25 「安田リヨウの教育思想に関する研究」Ⅰ—『夜雨摘録』の内容分析とその現代的意義を問う—

○大庭 由子¹，中島 正明²（¹安田女子大学現代ビジネス学部，²安田女子大学教育学部）

11:45 「安田リヨウの教育思想に関する研究」Ⅱ—『夜雨摘録』の語句索引を中心に—

○中島 正明¹，大庭 由子²（¹安田女子大学教育学部，²安田女子大学現代ビジネス学部）

<10:45~12:15 ポスター発表>

5号館2階フロア

※午前中はポスターを常時掲示しています。

※発表者がポスター前で説明・質疑を行う「責任滞在時間」は以下の通りです。

10:45~11:30

1. 幼児期の食育に関する研究—共食について—
○城平 祐里（広島市立安東保育園）
2. 特別な教育的配慮を要する児童に視点を当てた造形遊びの授業
○宮本 明優花¹，藤原 逸樹²（¹広島市立早稲田小学校，²安田女子大学教育学部）
3. 養護実習における学生の学びの検討—実習記録等の記載内容の分析を通して—
○宮崎 久美子（安田女子大学教育学部）
4. マーブリング遊びについて
○江口 公治（安田女子大学教育学部）

11:30~12:15

5. 幼児の食育指導に関する研究—栽培活動—
○草本 奈津（広島市立出島保育園）
6. A study on schoolnurse' s caring behavior -Development of conceptual framework-
○宮崎 久美子（安田女子大学教育学部）
7. 子どもの暴力・暴言に隠れた「思い」を「言葉」に換える指導の在り方
—悩みを分かち合い、明日の実践を切り拓く交流の場としての「yasuda 学びのひろば」の事例から—
○八木 秀文（安田女子大学教育学部）

<13:00~16:00 基調講演 / パネルディスカッション>

5202教室

テーマ：子どもたちの社会的支援を考える

基調講演 中 みちる 先生（NPO 法人広島クリニカルソーシャルワーク研究所 ripple 代表）
様々な困難を抱えた子どもたちや保護者を支援しておられる経験をふまえ、今どのような社会的支援＝「つながり」をつくりだすことが必要なのかをご講演いただきます。

パネリスト S教諭（教職7年目／安田女子大学児童教育学科0G）
I教諭（教職6年目／

※守秘義務上の配慮から、プログラムの紙面上は匿名扱いとしています。

アドバイザー 中 みちる先生
司会 山田 修三（安田女子大学）

後援 広島県教育委員会
広島市教育委員会

16:00~16:30 総会

5202教室